



いちかわみさと

議会だより

第30号

2013年2月1日発行



● とれた～ 大塚にんじん

平成24年 12月定例会

● 条例制定・改正	2
● 平成24年度一般会計補正予算	3
● 常任委員会報告	4～5
● 組合議会報告	6～7
● 5議員が一般質問	8～12
● 審議結果・人事	13
● モニター紹介・意見	14～15
● みんなのページ	16

条例の制定 6件・改正 12件

地方分権一括法関係

- 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定（他4件）
- 財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例中改正（他6件）

※地方分権一括法

平成22年5月に公布された地域主権改革関連3法により、国の関与を見直し、権限移譲の推進と地方自治体の行政体制整備確立のために必要な条例制定および改正です。

平成24年第4回定例会は、12月7日から19日までの13日間にわたり開催されました。今定例会では、平成24年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、条例制定・改正など28議案、同意1件、承認1件、発委2件が提案され、いずれも原案のとおり可決、同意、承認されました。

都市計画税条例中改正

税率変更の特例期間2年間延長する改正。

地区計画等の案の作成手続に関する条例制定

山王地区における土地区画整理事業を推進するにあたり、地区計画等を定める。

議会委員会条例中改正

地方自治法が一部改正されたことにより、常任委員と議会運営委員の専任ほかの事項を加えた。

総括質疑

問 一瀬 正

地方分権による、条例改正及び条例制定がされているが、町民サービス低下、町財政負担はあるのか。

答 長澤総務課長

今まで国で規定したものを、今後は自分達で改正・新条例を作るもので影響はなく、財源にも変化はないと思っている。

問 一瀬 正

重度心身障害者医療費助成制度の見直しについて、該当者の負担を考えると、制度の存続はすべきと要望するが。

答 町長

市川三郷町が最後まで存続を主張してきたが、県が支援を打ち切るため、やむなく本町でも廃止した。今後、機会があれば制度の必要性を主張していく。



平成24年度

一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

収入支出の補正額は

補正額	1億8,977万円
総額	85億5,040万円

収入のおもな内訳は



分担金および負担金	127万円
国庫支出金	△1,694万円
県支出金	1,094万円
繰越金	17,845万円
諸収入	872万円
借入金(町債)	732万円

おもな使いみち

総務費

衆議院議員選挙費	1,203万円
郡農前交差点分筆用地測量業務委託料	46万円
市川大門駅舎改修工事費	473万円



切符販売所設置場所

駅舎内切符販売所設置場所

農林水産業費

下大鳥居排水機場等農業用施設	
修繕費等追加	195万円
中山間圃場整備換地等	
業務委託料追加	315万円
河原間新田地内水路改修工事費	210万円

教育費

六郷中学校部室改築工事	
設計業務委託料	65万円
六郷中学校テニスコート整備工事費	229万円

土木費

山王土地区画整理事業町道分	
用地購入費	△4,208万円
鳴沢川高田地区内水対策	
検討業務委託料	300万円



高田排水機場

民生費

重度身体障害者非常時	
人工呼吸器等用発電機給付事業	60万円
配食サービス事業委託料追加	413万円
子育て支援医療費助成金追加	640万円

衛生費

町立病院事業会計負担金追加	1億4,826万円
---------------	-----------

総務教育

開催日
12/11

問 山王土地区画整理事業費更正の理由と今後への影響は。

町長 富士川町の農振除外手続きが遅れたため、今後は計画全体の遅れがないよう対応していく。

問 (株)中日本高速道路からの光ケーブル移設や消防施設補償について全額補償してもらおう協議が必要と思うが。

長澤総務課長 補償基準に基づき(株)中日本高速道路が積算している。

問 市川大門駅切符販売に関する講習会期間は。

長田政策推進室長 1月中旬以降、おおむね3カ月を予定している。

問 市川大門駅改修工事場所は。政策推進室長 大門駅(下地区公民館)を入り左側に3m×3・4mを仕切り、その中に販売所を設ける。

問 広域ネット負担金につき、パソコン処分費が44万円と

安価ではないか。新しいパソコンは設置済みか。

伊藤企画課長 峡南5町の廃棄台数を想定し、各町の負担額を算出した。新しいパソコンは当初予算に計上し、設置済み。

問 六郷中学校テニスコート整備は特別教室建て替えによるものと説明したが、どこに造るか。

網倉教育総務課長 グラウンドにある2面の向きを変え3面に整備する。



六郷中テニスコート整備

問 老朽化による六郷中学校部室の新設内容は。教育総務課長 現在の部室を取り壊し、同じ場所にガレージタイプの設置。前にシャッターのついた既製品。工事費は800万円となる。

厚

生

開催日
12/13

問 訴えの提起で、滞納の償還が可能となった内容は。上野税務課長 延滞金、督促料、弁護士費用を含めても滞納償還は可能となる。

問 条例制定され、町がチェックすることになるが、具体的方法は。福祉支援課長 毎月調整会議を行い、実績報告、課題等を聞き、調整会議や研修の中で確認する。

問 条例制定は、準則を基に検討会をもち作成したと解釈してよいか。福祉支援課長 県下の市町村担当者が集まり、ホーム研究会を設け、自分の町にどのような条例が必要か研究し策定した。

問 指定地域密着型サービスの人員、整備および運営に関する基準を定める条例制定で、本町の関係する施設は。青柳福祉支援課長 共同生活起居、認知症対応型共同生活介護施設は、カーム三珠のみ。

問 介護保険条例中改正で、地域自主性および自立性を高めるとあるが、現条例との違いは。



カーム三珠



常任委員会

福祉支援課長 入所定員と申請者は町が定める。入所要件を定めることで、今後、地域密着型の施設を建てる時の基準にする。

問 扶助費中、発電機の貸与につき、1級手帳所有者3名と説明したが、その内容は。
福祉支援課長 呼吸器系1級の方で、今回東電から貸与されていた3名を対象とした。

問 配食サービスの地区別利用者数は。
福祉支援課長 三珠地区20名、市川大門地区73名・六郷地区17名である。

問 町立病院負担金で、今年度の繰り出し額は。
伊藤病院事務長 総額で3億825万5千円となる。

土木環境

開催日
12/14

問 特定公園施設の設置に関する基準を定める条例制定で現行の基準で今後改良しなければならない施設は。

加藤建設課長 検証してないが、今後整備していく施設については、新基準で整備する。

問 水道法施行条例制定で、布設工事者の資格と水道技術管理者の資格につき、今までもあったか、大幅に変わったのか。

河西生活環境課長 水道法

施行令にあったものを町の条例に定めた。

問 町営住宅等の整備基準は、基準を満たすため、今後工事等を行うのか。

建設課長 既設の住宅については、長寿命化計画を現在策定中であり、計画に基づき進める。

問 松くい虫被害対策事業委託料で、だいぶ沈静化してきていると思うが。
丹沢産業振興課長 全体的に沈静化に向い、年々少なくなっている。

問 鳴沢川の内水対策調査委託に排水機場も含まれているか。
建設課長 排水機場施設整備も含め、対策方法を検討する。

問 山王土地区画整理の全体工事完了時期と、市川三郷町と富士川町の区画、および、個人所有分は。
建設課長 完了は、平成28年度を予定している。市川三郷町の保留地20区画、富士川町17区画、計37区画。個人所有となる土地については、区画をどのように分けて使うか決定していないが、保留地部分と同じくらいになる。



山王土地区画整理地

組合議会の報告

● 峡南衛生組合

第2回定例会 10月18日

平成23年度決算認定・条例改正、平成24年度一般会計補正予算の3件で、いずれも認定、可決されました。

条例改正では、各種委員の報酬を近隣の組合との適正化を図るための一部改正です。

補正予算では、生ごみ処理するための機器等468万4千円の追加です。

第3回臨時会 11月28日

平成24年度一般会計補正予算、監査委員の選任についての同意2件で、いずれも原案通り可決・同意されました。

補正予算では、清掃費において電気料値上げによる追加153万1千円が主なものです。

(報告 志村 公人)

平成23年度 峡南衛生組合決算	
一般会計	
歳入	4億 438万円
歳出	3億9,453万円
差し引き	986万円
本町の負担金	6,129万円

● 三郡衛生組合

第2回定例会 9月27日

平成23年度一般会計・し尿処理・火葬事業特別会計決算認定3件と、公平委員選任についての同意合わせて4案件で、いずれも原案通り認定・同意されました。

公平委員に本町上野、青木謙氏が選任されました。

(報告 三神 貞雄)

平成23年度 三郡衛生組合決算	
一般会計	
歳入	1,802万円
歳出	1,574万円
差し引き	227万円
本町の負担金	268万円
し尿処理事業特別会計	
歳入	3億2,096万円
歳出	3億1,303万円
差し引き	792万円
本町の負担金	3,740万円
火葬事業特別会計	
歳入	2億 896万円
歳出	2億 267万円
差し引き	630万円
本町の負担金	1,487万円

● 峡南広域行政組合

第2回定例会 10月15日

常任委員、議会運営委員の選任、条例制定・改正、平成23年度一般会計・介護保険・峡南ふるさと市町村圏特別会計の決算認定等、いずれも同意・可決・承認されました。

計算センター、慈生園常任委員長および議会運営委員に本町の村松武人議員が選任されました。

第2回臨時会 11月27日

平成24年度一般会計・介護保険・ふるさと市町村圏特別会計補正予算で、いずれも原案通り可決されました。

補正予算では、空気清浄機の整備、中部横断道活性化プロジェクトへの負担金の追加です。

(報告 村松 武人)

平成23年度 峡南広域行政組合決算	
一般会計	
歳入	16億1,572万円
歳出	15億9,671万円
差し引き	1,901万円
本町の負担金	3億5,606万円
介護保険特別会計	
歳入	2億4,806万円
歳出	2億3,808万円
差し引き	999万円
本町の負担金	0万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計	
歳入	2,487万円
歳出	2,344万円
差し引き	142万円
本町の負担金	0万円

組合議会の報告

●山梨県後期高齢者医療広域連合

第2回定例会 10月22日

平成23年度一般会計・特別会計の決算認定2件、平成24年度補正予算2件、監査委員の選任で、いずれも原案通り認定、可決、同意されました。

補正予算では、基金の積立金と、国・県支出金の返還金を追加するものです。

(報告 井上 達雄)



平成23年度 山梨県後期高齢者医療広域連合決算

一般会計	
歳入	5億 946万円
歳出	4億8,841万円
差し引き	2,105万円
本町の負担金	1,260万円
特別会計	
歳入	887億8,015万円
歳出	882億9,048万円
差し引き	4億8,967万円
本町の負担金	1億7,741万円

●中巨摩地区広域事務組合

9月定例会 9月27日

平成23年度一般会計、ごみ処理・地区公園・老人福祉・勤労青年センター・し尿処理事業特別会計決算認定6件で、いずれも原案通り認定されました。

(報告 遠藤 浩)

平成23年度 中巨摩地区広域事務組合決算

一般会計		老人福祉事業特別会計	
歳入	3,856万円	歳入	4,214万円
歳出	3,524万円	歳出	4,118万円
差し引き	333万円	差し引き	95万円
本町の負担金	274万円	本町の負担金	272万円
ごみ処理事業特別会計		勤労青年センター事業特別会計	
歳入	16億8,934万円	歳入	1億 847万円
歳出	16億5,945万円	歳出	1億 367万円
差し引き	2,989万円	差し引き	480万円
本町の負担金	1億6,203万円	本町の負担金	672万円
地区公園事業特別会計		し尿処理事業特別会計	
歳入	1,012万円	歳入	2億6,286万円
歳出	865万円	歳出	2億6,037万円
差し引き	148万円	差し引き	249万円
本町の負担金	66万円	本町の負担金	0万円



中巨摩地区広域事務組合



三郡衛生組合



峡南衛生組合

署名をどう受けとめているか

一瀬 正 議員

—より良い計画になるよう努力する—

問 「町立病院を今のまま残してください」と題した署名をどう受け止めているのか。

町長 町議会の地域医療を守る特別委員会で16回にわたり検討された意見集約を重く受け止め、病院の建て替えや、医師配置計画の確実性を求め医療連携を承認した。署名の要求項目は大方満たされているが、より良い計画になるよう努力する。

問 町立病院と鯉沢病院の医師の配置・累積赤字の処理・医療機器など、経営統合に進む前に慎重な分析、検討をしたのか。

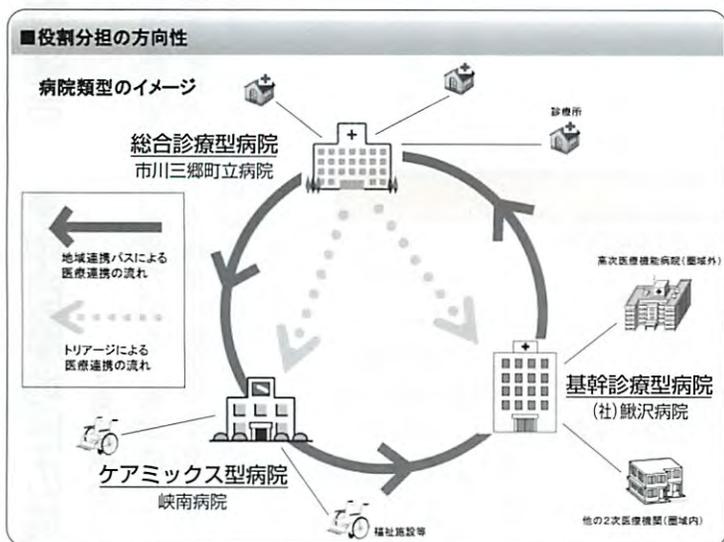
町長 計画どおり医師の派遣がされると考える。赤字処理については、峡南北部2病院統合協議会で協議する。地域完結型医療の実現のため、経営統合する事により医療資源を集約し地域医療は守られると考える。

問 町立病院と鯉沢病院の医師の配置・累積赤字の処理・医療機器など、経営統合に進む前に慎重な分析、検討をしたのか。

町長 計画どおり医師の派遣がされると考える。赤字処理については、峡南北部2病院統合協議会で協議する。

町長 計画どおり医師の派遣がされると考える。赤字処理については、峡南北部2病院統合協議会で協議する。

町長 計画どおり医師の派遣がされると考える。赤字処理については、峡南北部2病院統合協議会で協議する。



問 若い人たち向けに永住キャンペーンと住宅建設への町独自の政策展開は。

町長 県内外のイベントでPRし、定住促進住宅や山王地区開発など人口増加の明るい展望も見えてきた。各種媒体を活用して発信していく。

問 働きたくても働く場がない町民のために町による仕事おこし事業の創設は。

町長 雇用対策は重要だが一自治体で扱うには大きな問題。雇用創出の事業を行う

問 東京都内の特定の区および市との友好関係を結ぶ中で自然環境を活かした人口増加策の展望は。

町長 中部横断道やリニアなど多くの来県者が期待される。交流人口増加対策に取り組み、観光スポット紹介や市川三郷レンジャーはもとより、さらに新たな施策に取り組み。



定住促進住宅

機構改革への取り組みは

笠井雄一 議員

―慎重でしかも効果のある計画を実行―

問 集中改革プランには、基本構想の実現と行政改革の推進に対応した、新たな行政改革を再構築する機構改革の計画があるが実施時期は。

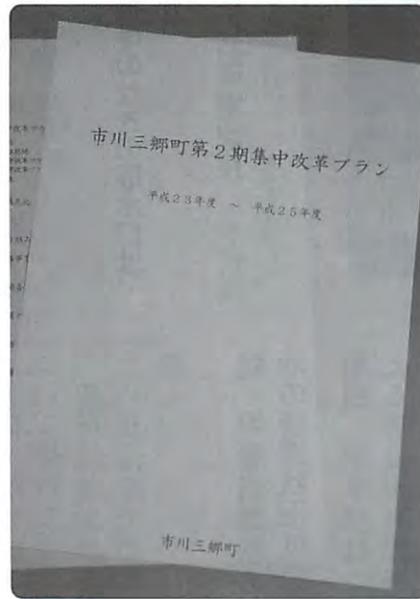
町長 平成23年に職員で機構改革について集中審議を行った。いきいき健康課と福祉支援課を統合し本庁舎へ、また産業振興課を本庁舎へ置く等の問題は、建物の構造やスペースなどの課題もあり解決に至らなかった。25年には方針を決定し、審議していく。

問 行政を運営する上で非常に重要な課題だが、具体的にどの程度進んでいるか。

長澤総務課長 3つのプロジェクトを立て、月1回のペースで検討している。課の統合による支所の問題など難しい問題であるが、今以上のペースで進めていく。

問 事務事業の再編・整理・廃止・統合について、どのような点検、視点で取り組んでいるか。

町長 各課が評価した全ての事業を庁内で聞き取りを行い、事業の改善点など話し合い施策全般の見直しを行っている。また、必要性や効率の低い事務事業は廃止、事業費の削減など検討・精査している。



集中改革プラン

問 機構改革を進める中、人事評価計画はどのように行われているか。

総務課長 各々が事業設定した内容がいかに関成できたかにより人事評価をしている。職員に、徹底させていく意味であると2年くらい試行していく。



本庁舎 福祉支援課フロアー

簡易水道の機器状況、水質は

川崎 充朗 議員

—水質、水量とも確保されている—



六郷取水場

問 取水機器は設置し10年以上経つ。ろ過装置等の点検、交換はどのくらいの期間で行っているか、取水場の変更の考えはあるか。

町長 中央簡易水道は、3ヶ所の水源から取水している。機器等は、年間委託による定期点検を実施している。残留塩素は、1.0あたり0.1ml以上確保することが定められている。水質、水量も確保され、取水場の変更は考えていない。

問 楠甫のせきの取水口は、安全か。

河西生活環境課長 水質検査は1カ月に一度実施し、問題はない。

問 中部横断道路、原トンネル周辺丘陵の開発整備について森林環境税を利用し、桜の植樹で里山作りや太陽光発電施設の設置を提案するが。

町長 桜を含め四季折々の木を植樹する事は、大変貴重な意見である、地域が関わるグループ育成や助成などして、地域づくりに関わりたい。

太陽光発電は土地利用について提言もされている。費用対効果等課題があるため現段階での取り組みは難しい。

問 甲斐岩間駅の東側荒地の管理状況は。

町長 駅東側はなんとか見える形で担当課を中心に、企画調査し動き始めている。



原トンネル付近丘陵地

町立病院改革プランの成果と実績は

内藤 優 議員

― 統合協議会で本町のためになる病院を目指す ―

問 本年度末で終了する町立病院改革プランの概括的な評価は。

町長 経常損益は、過去2年間目標値を上回ったが、平成23年度は達成できなかった。国の目標値は達成したが、医師不足による厳しい経営状況にある。

問 病院経営の根底には、医師確保が大きな要素であるが、改革プラン作成時の方向性と現況は。

町長 平成16年度末には、黒字経営に転じたが、臨床研修医制度による医師確保が困難となった。このため累積赤字がかさみ、一般会計から補填しても赤字経営

が続く現状である。県・梨大医学部の支援により経営の健全化計画が整った。今後は病院の建て替えを考えていく方向である。

問 病院の改革プランの状況を、インターネットを通して公表しているが、幅広い方法で町民周知が必要では。

伊藤病院事務局長 町の広報誌等で情報公開を考えていく。

問 病床利用率、入院・外来患者数、医療機能の数値目標と実績および分析は。

町長 病床利用率は、この3年間数値目標に対し、平均9.8ポイント、入院患者数は29・4人、一日の外来患者数17・6人と、いずれも

マイナスであった。医療機能分析は、経常収支比率・給与比率ともプラン目標値にわずか届かなかったが、国の数値はクリアー。救急患者受入件数も75%である。

問 病床利用率は、来年度以降40床前後と聞かすが。

町長 病院事務局から数値報告を受けている。増加の期待は出来ない。

問 経営統合により新しく総合病院として建て替え、生れ変わることに町長の決意は。

町長 八千余の署名の重さを受け止め、医師の勤務環境改善等、峡南地域の医療再生計画に取り組み、今回の選択が本町町民のために



町立病院 受付

良かったと思われるよう、使命感を持って、取り組んでいく。

福祉用具購入費・住宅改修費の 受領委任払い制度の導入を

宮崎博巳 議員

—環境を整えて実施していく—

問 利用者がいったん全額負担し、その後、申請をして介護保険から9割を受け取る償還払いとなっているが、自己負担分の1割を支払い、残りの9割は、自治体から事業者を支払われる受領委任払い制度が必要と考えるが。

町長 介護保険制度では、利用者と事業者の負担軽減を考えて、福祉用具購入費や、住宅改修費を償還払いで支給する方法を採用している。

受領委任払いには、町が定める規則等に基づき、事業者に登録申請や、受領委任事務手続きがあり、周知等事前の準備が必要。

県内では、甲府市や笛吹市等、人口規模の大きな自治体であり、町では昭和町のみである。

今後は、これらの自治体を参考に検討を進め環境を整えて実施していく。

問 償還払い制度と、受領委任払い制度の選択性ということは考えているか。

青柳福祉支援課長 環境整備の中で、両方どちらでも対応できる体制が必要と考えている。

問 節電対策として初期費用も抑えられる、リース方式による公共施設へのLED化を。

町長 LED照明は環境にやさしく、長寿命であることなど、有効な節電対策であると認識している。

現在、町立図書館・本庁舎1階の町民課と福祉支援課をLED照明に交換した。器具は高価なもので導入の障壁となっている。

今後は安価で性能のよい商品開発の期待や、在庫補助金が導入される可能性等、LED照明器具の導入に当たっては、初期投資負担の軽減となる「リース」、トータル的に経費節減となる「購入」の両面で検討していく。



住宅改修



福祉用具ポータブルトイレ

審 議 結 果

◎第4回 12月定例会 (12月7日～19日)	結果
・教育委員会委員の任命につき同意を求める	同意 全会一致
・平成24年度一般会計補正予算(第6号)の専決処分につき承認を求める	承認 全会一致
・指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定	可決 全会一致
・指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに 指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に 関する基準を定める条例制定	可決 全会一致
・移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例制定	可決 全会一致
・地区計画等の案の作成手続に関する条例制定	可決 全会一致
・水道法施行条例制定	可決 全会一致
・公営企業の剰余金の処分等に関する条例制定	可決 全会一致
・暴力団排除条例中改正	可決 全会一致
・証人等の実費弁償に関する条例中改正	可決 全会一致
・都市計画税条例中改正	可決 全会一致
・財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例中改正	可決 全会一致
・介護保険条例中改正	可決 全会一致
・廃棄物の処理及び清掃に関する条例中改正	可決 全会一致
・土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例中改正	可決 全会一致
・都市公園条例中改正	可決 全会一致
・下水道条例中改正	可決 全会一致
・町営住宅設置及び管理条例中改正	可決 全会一致
・峡南広域行政組合格約の変更	可決 全会一致
・大畠山外七字恩賜県有財産保護組合格約の変更	可決 全会一致
・平成24年度一般会計補正予算(第7号)	可決 全会一致
・国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決 全会一致
・介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決 全会一致
・簡易水道特別会計補正予算(第3号)	可決 全会一致
・公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決 全会一致
・温泉事業特別会計補正予算(第1号)	可決 全会一致
・後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
・病院事業特別会計補正予算(第1号)	可決 全会一致
・訴えの提起	可決 全会一致
・衛星携帯電話購入契約締結	可決 全会一致
・議会委員会条例中改正(発委)	可決 全会一致
・議会会議規則中改正(発委)	可決 全会一致

議会傍聴にお出かけください

次回定例会は3月に予定されています。

傍聴の定員

本会議 30人 委員会 各8人

◆12月定例会の傍聴実績(のべ人数)

本会議 15人 委員会 1人

◆会議録検索システム利用件数

1月から12月まで 4,402件

◆お問い合わせ

議会事務局 TEL055-272-1108

教育委員

一瀬美教氏

昭和22年1月24日生
市川三郷町市川大門

人事

議会広報モニター委嘱式

12月10日、広報モニター委嘱式が行われ、12名のモニターが選任されました。

交付後、議会広報について意見交換が活発に行われました。

これからも、モニターの意見や指摘を頂きながら、町民に「見やすい」「親しまれる」議会だよりとなるよう努めていきます。



モニター意見交換会の模様

モニターの皆様のご意見

- 色づかい、レイアウトなど申し分ない。子供が明るく元気で微笑ましい。こちらもパワーをもらえるような気がする。
- 円グラフ、棒グラフなど見易くわかりやすくて上手に使われている。
- 定例会の質問を一覧にしたり、関連写真を掲載するなど努力がうかがえる。また、一般質問において、「防災士」「フォレストベンチ工法」のように、あまり使い慣れていない言葉に解説を加えたことも有効だと思う。
- 「です・ます」体と「だ・である」体がちやまぜになっている。統一すべきだ。
- 写真のスペースが多すぎるように思う。イラストも使用してみてもどうか。
- 条例の制定・改正については、一般町民は予備知識がないので、内容が理解できない。
- ページ数が多くなると思うが、字がもう少し大きくになると読みやすい。
- 「議場の様子」の写真は臨場感が出て良い。委員会構成は見やすい構図になっている。
- 明るく、元気に季節の体験などをして園生活を送っている大事な子供たち。その様子が笑い顔でわかる。すこやかな成長を…。



モニターの皆様

議会広報モニター名簿

(任期：平成24年12月1日～平成26年11月30日)

氏名	地区	氏名	地区
小野芳幸さん	三珠地区	河合和彦さん	市川地区
村松清見さん	三珠地区	若尾かな江さん	市川地区
横尾智文さん	三珠地区	赤池紀代さん	市川地区
前島一哉さん	市川地区	望月志津子さん	六郷地区
岸本澄子さん	市川地区	塩澤好光さん	六郷地区
斎藤美佐さん	市川地区	笠井庸子さん	六郷地区

議会改革

議会改革特別委員会(村松武人委員長)は、12月19日に会議を開き議会基本条例制定のための小委員会から提出された素案について検討しました。この事により、平成25年6月の条例制定に向けて始動しました。

市川三郷町議会基本条例素案は、条例の考え方を示す前文と8章44条の構成で、議会・議員の責務および活動原則、議会と町民や町長の関係など市川三郷町議会の運営をどのように行なうのか定めています。

市川三郷町議会基本条例の素案特徴

- 1、現在まで受け継がれている市川三郷町議会の良い慣例等を尊重し新しい議会改革の考え方を取り入れた。
- 2、条例化することで、議会に付されている権限と責任を明確に示し議事機能の強化を推進する。
- 3、常任委員会審議を重視した議会運営を尊重し議員の発言環境を継承することと自由闊達な討議環境をあらたに構築する。
- 4、自主編集による議会広報を核に町民への説明責任を果たすとともに住民との対話を重視した議会報告会等の開催により住民参加を期す。

原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字詰め原稿用紙1枚以内、氏名(区名)・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ：議会事務局 TEL055-272-1108

みんなのページ



定林寺立正幼稚園 定林寺立正保育園

素直で明るい子ども達。
地域の皆様や保護者の
皆様に支えられ、
元気いっぱい
成長しています。



スマイル組(年長児)の子ども達

編集後記

「人口減社会」、私たちは勘違いをしているのかもしれない。人口が減ることと地域の衰退を同次元でとらえている事です。

黒死病や戦乱で急激な人口減となった14世紀頃のヨーロッパは、一人当たりの資産が増大しルネッサンスへと導いています。また、経済成長に対する労働力の寄与率は低いのです。日本が経済成長により今の国際的地位を得たのは、技術革新とか熟練の技などという計算式には表せられない間接的な要素です。私たちは、この事が最も得意な民族です。子どもの頃、棒切れ一本で二日中遊んだ発想力や工夫がその原点だと思えます。輝く子どもたちの目があればこの国と地域を繁栄へと導いていくのだと思います。

(記 遠藤)

議会広報編集特別委員会

- 委員長 笠井 雄一
- 副委員長 市川 朝嗣
- 委員 川崎 充朗
- 宮崎 博巳
- 有泉 希
- 遠藤 浩